

赤いテープと青いテープと黄色いテープがあります。

赤いテープの長さは5 mです。青いテープの長さは2 mです。

黄色いテープの長さは青いテープの長さの4倍の長さです。

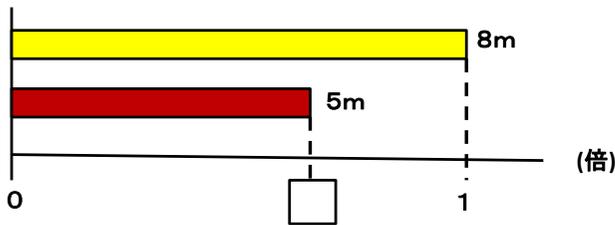
赤いテープの長さは黄色いテープの長さの何倍ですか。考え方を下の□にかき、

答えを小数と分数の2通りの答え方で求めましょう。

考え方 (50点)

まず、黄色いテープの長さを求めると、黄色いテープの長さは2 mの青いテープの長さの4倍なので、 $2 \times 4 = 8$ で、8 mになる。

だから、5 mは8 mの何倍かを求めれば良いことになる。8をもとにして考えれば良いので「 $5 \div 8$ 」で求められる。



式(かならず何か、かきましょう) (50点)

$$2 \times 4 = 8 \quad (\text{小数}) 5 \div 8 = 0.525 \quad (\text{分数}) 5 \div 8 = \frac{5}{8}$$

答え 0.525倍 $\frac{5}{8}$ 倍

解説

何倍かをもとめる問題では何が基準(もと)になるかを考えることが大切です。わり算の答えは、小数(わり切れないこともあります。)そこで、分数でも答えられるようにしましょう。今回の数学者は、フランスのデカルトです。「我^{われ}思う、ゆえに我^{われ}あり」という言葉が有名です。色々な事を考えているということは、自分^{われ}は確かに存在^{そんざい}するという事です。みなさんも色々考えていきましょう。